

全自動洗濯機

IAW-T804

取扱説明書



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5
洗濯物について	8

取り扱いかた

洗濯前の準備	9
洗剤・柔軟剤自動投入機能について	11
洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は	14
ふたロックについて	16
チャイルドロックについて	16
洗濯 標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース	17
洗濯 毛布コース	18
洗濯 ドライコース	20
洗濯 コースの設定を変更して洗濯する	22
洗濯 タイマー予約洗濯	23
ふろの残り湯を使用する	24
お手入れ	26
コース一覧	31

こんなときには

故障かな？と思ったら	32
仕様	38
長期使用製品について	39
保証とアフターサービス	39

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んで、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれた手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



接触禁止

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。



- ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する
事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
- 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない
- 子どもに使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気をを感じる
 ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 40℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器につながらない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
雨合羽・サウナスーツ・ウエットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット

- 衣類を入れすぎない
運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 給水ホースは確実に接続する
- 運転前は、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。



- 運転後は水栓を閉じる
水もれの原因になります。

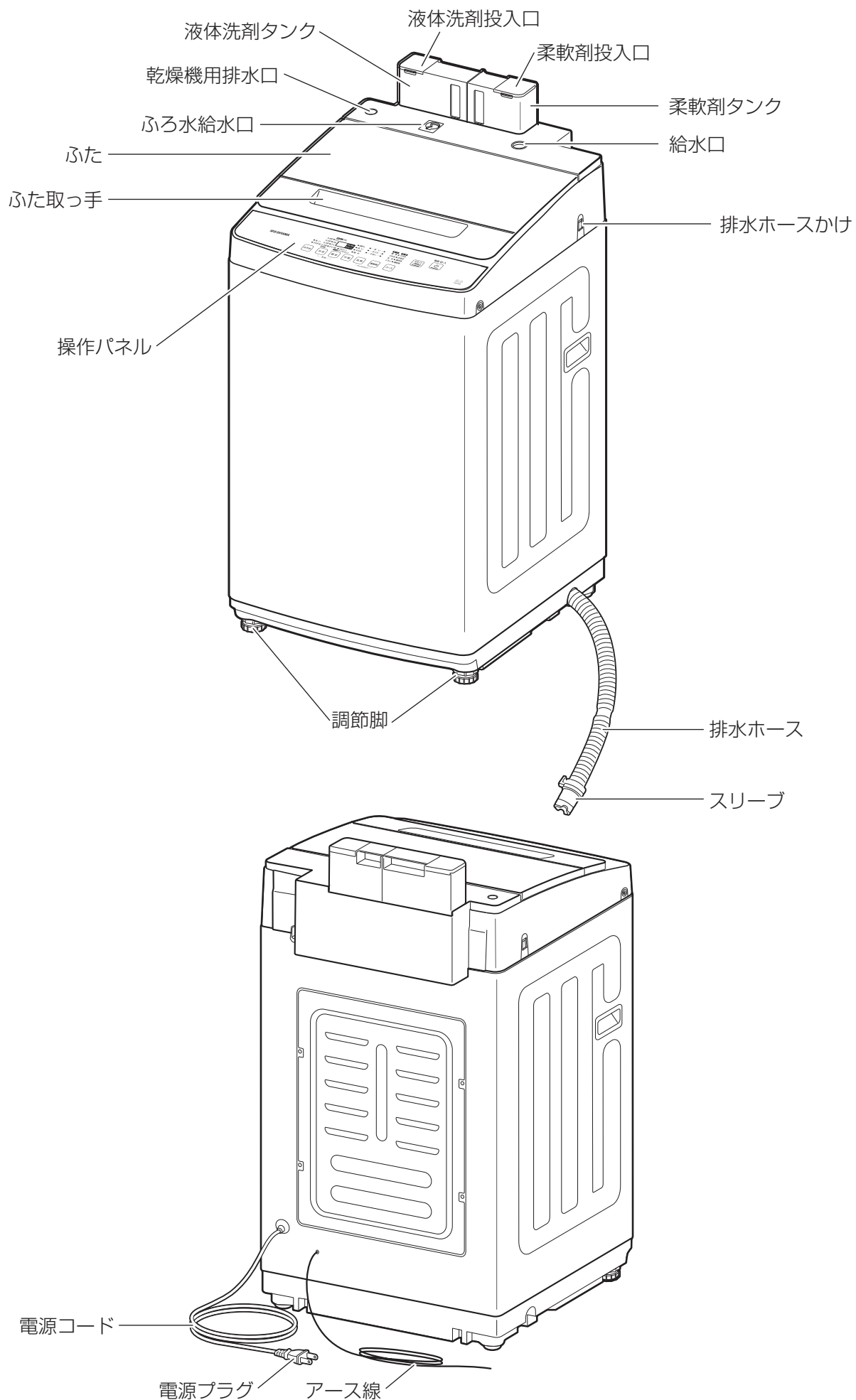
使用上の注意

- 本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。
- 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。
- 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

廃棄について

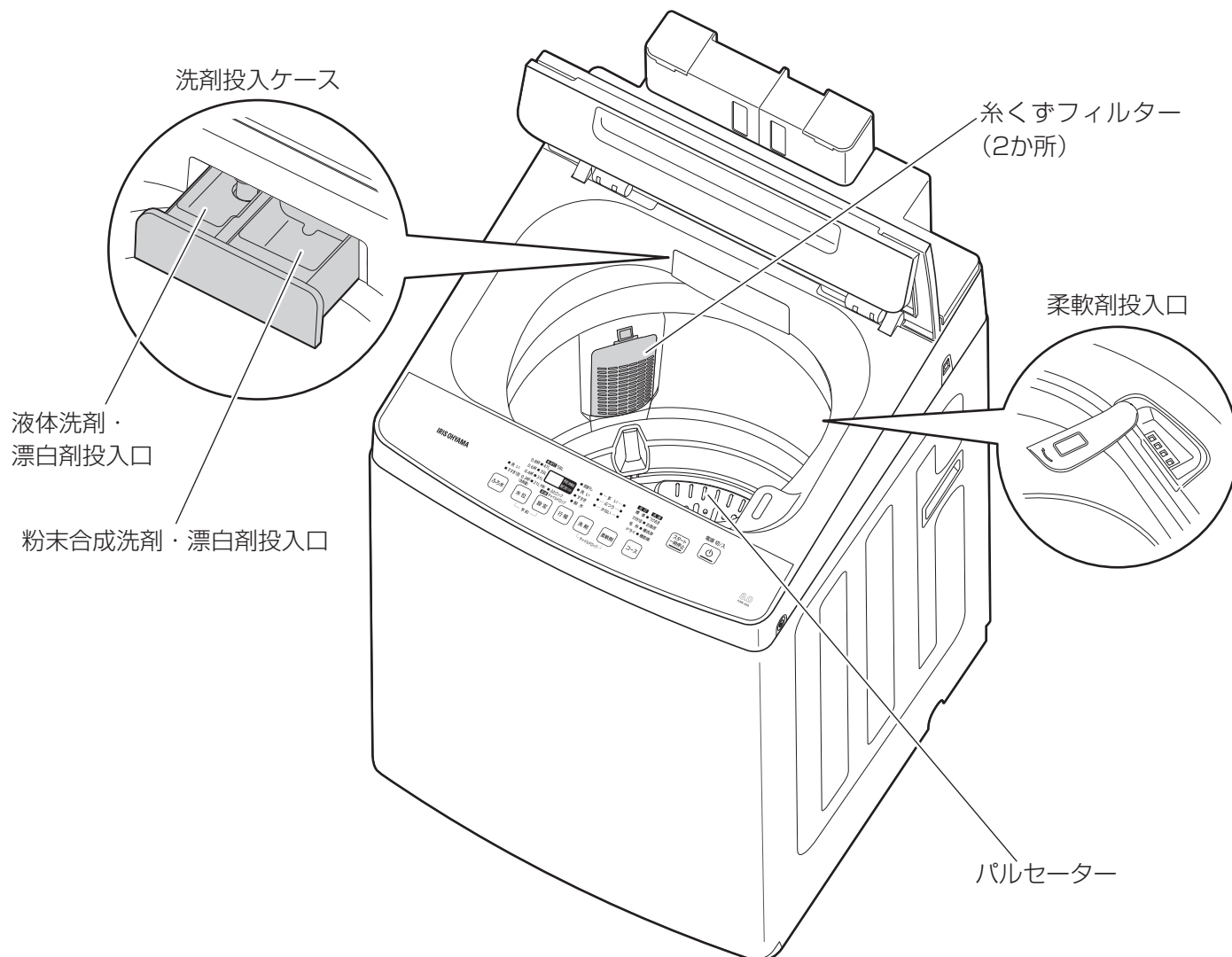
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 子どもを含む、補助を必要とする方がこの機器を使用する場合は、安全管理を行う方の付き添いおよび指示のもとで行ってください。小さな子どもやペットが洗濯槽に誤って落下および作動させないでください。

各部の名称

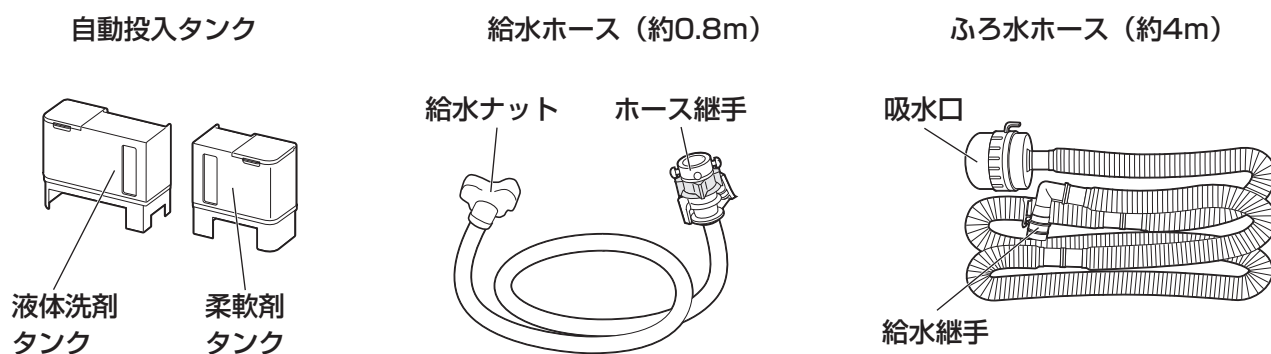


各部の名称 つづき

洗濯脱水槽



付属品



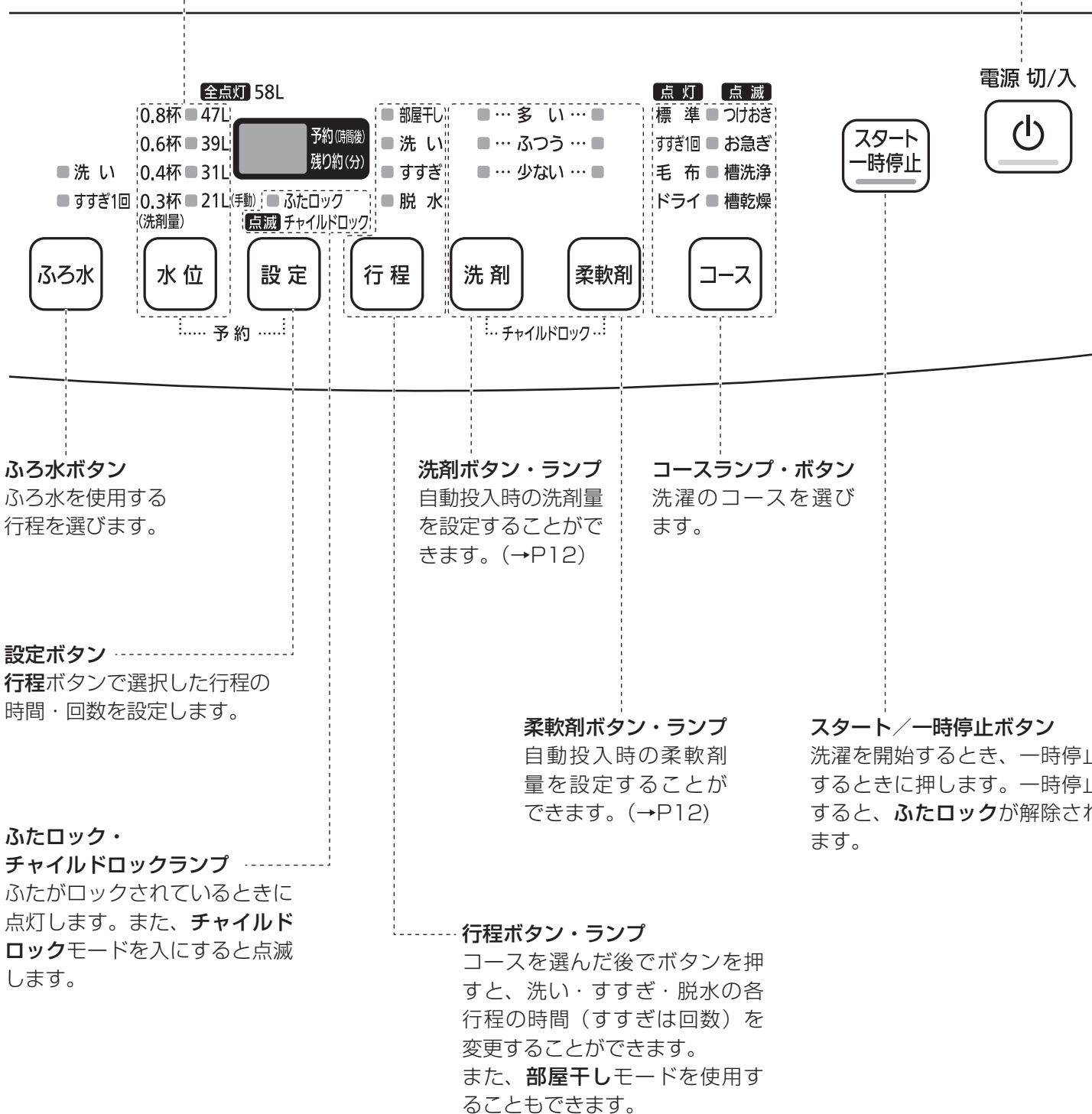
■操作パネル

水位ランプ・ボタン

洗濯物の量やコースに合わせて、自動で水位が設定され、ランプが点灯します。
水位ボタンを押すと、手動で水位を変更することもできます。

電源 切/入ボタン

電源を入・切します。
運転終了後は電源が切れます。



洗濯物について

■洗濯できないもの

洗濯物の縮み・型くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の洗濯絵表示のあるもの

 または  : 家庭での水洗いはできない、
または洗濯処理はできない

 または  : 石油系ドライクリーニング

●取り扱い絵表示や素材表示のないもの

●皮革・毛皮・羽などが使われている製品

●和服・和装小物

●ネクタイ・スーツ・コート

●レーヨン・キュプラおよびそれらの混紡が使われている製品

●絹製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●強燃糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー

●くつ

●コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

※厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

■脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

●玄関マット・ラグマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの

※ 3ページ **安全上の注意**  **注意項目** もご覧ください。

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

■部屋干しモードが使用できないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの

 または  : ドライクリーニング  または

「弱くしぼる」
などの指示

 : 弱くしぼるのがよい

 または  : つり干しがよい  または

「しぼってはいけない」
などの指示

 : しぼってはいけない

●ゴムやウレタンなどを使用した製品

●わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど

●ウールおよびウール混紡製品

●色落ち・色移りしやすいもの

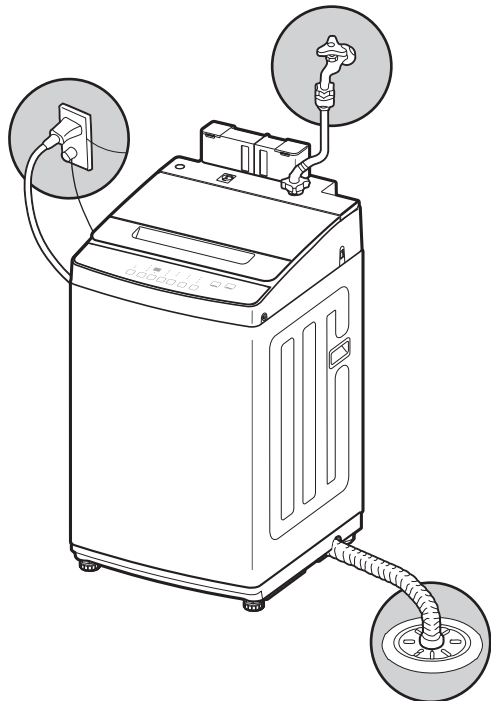
●しわが付きやすい製品

●その他、洗濯・脱水できない製品は、部屋干しモードも使用できません。

洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- アースが接続されているか

排水ホース

- 確実に排水口に取り付けられているか
- 排水が止まらないように高さ10cm以内に収まっているか
- 排水ホースが脚などに挟まっていないか

給水ホース

- 水栓（蛇口）の接続は、付属の給水ホースを使用して、ホース継手で接続しているか
- 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めであるか
- 接続部分にゆりみやがたつきがないか
- 水栓（蛇口）にさびは発生していないか

※ 給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。（据付説明書参照）

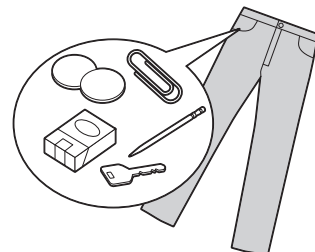
本体

- 水平に設置されているか
- がたつきはないか
- 排水ホースや給水ホース、水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

- 洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。

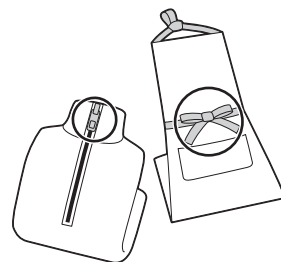


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

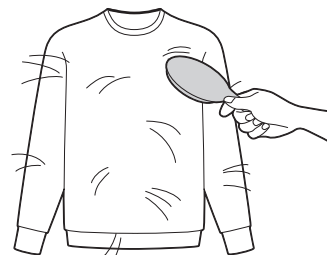
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- 洗濯物がすれたり、絡まったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- 排水経路が詰まる原因になります。



起毛素材（コデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



洗濯前の準備 つづき

3 洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分に、白いタオルなどに洗剤液を含ませたものを押しつけ、色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体の隙間に入り、故障の原因になることがあります。軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

4 洗濯物を入れる

- 洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準	ふだんの洗濯	8.0kgまで
すすぎ1回	すすぎ1回用洗剤にすすめ	8.0kgまで
毛布	毛布を洗濯する	3.0kgまで
ドライ	ウールなどを洗濯する	2.0kgまで
つけおき	汚れの多いものを洗濯する	5.0kgまで
お急ぎ	時間を短縮して洗濯する	7.0kgまで

- ※ 素材によって重さが異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。
- ※ 汚れ落ちや脱水の絞り具合を良くするために、少なめの量で洗濯をおすすめします。
- ※ ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

衣類の重さ（目安）

		
パジャマ上下 (綿) 約500g	スカート (混紡) 約400g	ワイシャツ (混紡) 約200g
		
アンダーシャツ (綿) 約130g	シーツ (綿) 約500g	バスタオル (綿) 約300g
		
タオル (綿) 約70g	ブリーフ (綿) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

洗濯物の入れかた

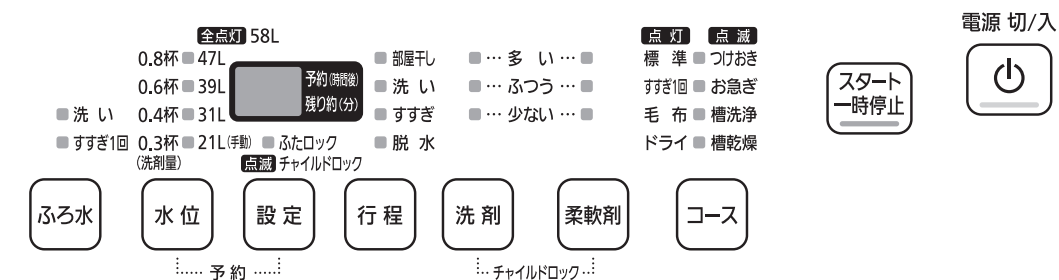
重いもの・水に浮きやすいもの・洗濯用ネットに入れた洗濯物から先に入れる

- 水に浮きやすい衣類の例
表地や裏地が化繊100%のジャンパーなど
フリースなど化繊100%、または混紡の衣類

洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

- タオルケットやシーツ・洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗ってください。洗濯物が1か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後いったん運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみ込ませてください。
- 上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは、洗わないでください。

洗剤・柔軟剤自動投入機能について



洗濯のたびに、使用する水の量に合わせて自動的に液体洗剤・柔軟剤を投入します。
設定を手動投入に切り替えなければ、自動で洗剤・柔軟剤を投入します。

洗剤・柔軟剤を入れるときの注意点

使える洗剤・柔軟剤

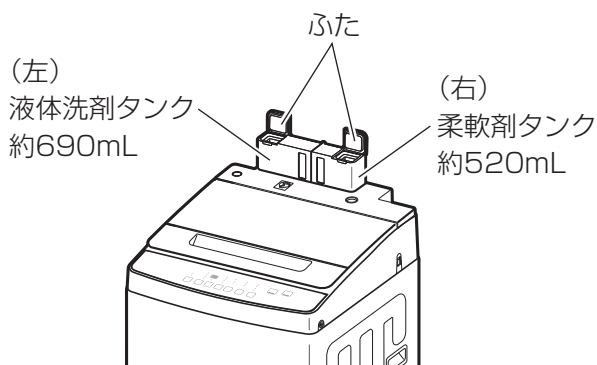
液体洗剤 液体柔軟剤

使えない洗剤・柔軟剤

粉石けん 粉末合成洗剤 ジェルボール型洗剤
ビーズ状仕上げ剤



タンクのふたを開けて、液体洗剤・柔軟剤を入れる



洗剤・柔軟剤の残量が、タンクの窓から見えなくなったら補充のタイミングです。

※ こぼれてしまった場合は、すぐに清潔なタオルや古布等で拭き取り、べたつきが気になる場合は水を含ませかたく絞ったタオル等で拭いてください。洗剤や柔軟剤がこぼれたまま放置すると、固まって汚れが取れなくなったり、故障の原因となります。



濃縮タイプの液体洗剤・柔軟剤を使用する場合は

濃縮液体洗剤を使用する場合

- ・ 設定ボタンと洗剤ボタンを3秒間同時に押し続けます。

濃縮柔軟剤を使用する場合

- ・ 設定ボタンと柔軟剤ボタンを3秒間同時に押し続けます。
- ・ ランプが点灯から点滅に変わり、設定が完了します。

- ※ 設定完了後ランプは点滅したままになります。
- ※ 一度設定すると記憶されるため、使用のたびに再設定の必要はありません。
- ※ 設定を解除する場合は、再度設定ボタンと解除したい洗剤ボタン または 柔軟剤ボタンを同時に3秒間押し続けてください。ランプが点滅から点灯に変われば解除完了です。

洗剤・柔軟剤自動投入機能について つづき

■漂白剤の入れかた

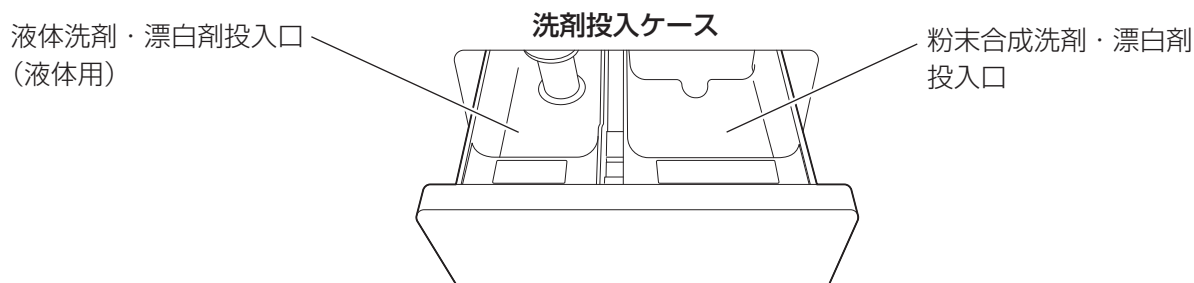
液体漂白剤

- ・ 洗剤投入口（液体用）に入れてください。

粉末漂白剤

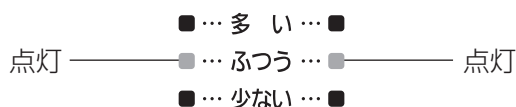
- ・ 粉末合成洗剤投入口に入れてください。

※使用量は漂白剤の説明にしたがってください。



■洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき

初期設定は**ふつう**が点灯しています。



1. 洗剤ボタン、柔軟剤ボタンを押すたびに点灯位置が
まわります。
 ふつう → 多い → (消灯) → 少ない
 と切り替わり
2. 洗剤ボタン、柔軟剤ボタンともに消灯すると手動投入に切り替わります。(→P14、15)

液体洗剤自動投入量（目安）

水位	液体洗剤			濃縮液体洗剤		
	少ない	ふつう	多い	少ない	ふつう	多い
58L	43mL	53mL	64mL	19mL	23mL	28mL
47L	34mL	43mL	52mL	15mL	19mL	23mL
39L	29mL	36mL	43mL	13mL	16mL	19mL
31L	23mL	28mL	34mL	10mL	13mL	15mL
21L	15mL	19mL	23mL	7mL	8mL	10mL

柔軟剤自動投入量（目安）

水位	液体柔軟剤			濃縮液体柔軟剤		
	少ない	ふつう	多い	少ない	ふつう	多い
58L	27mL	34mL	41mL	14mL	17mL	20mL
47L	22mL	27mL	33mL	11mL	14mL	16mL
39L	18mL	23mL	27mL	9mL	11mL	14mL
31L	14mL	18mL	22mL	7mL	9mL	11mL
21L	10mL	12mL	15mL	5mL	6mL	7mL

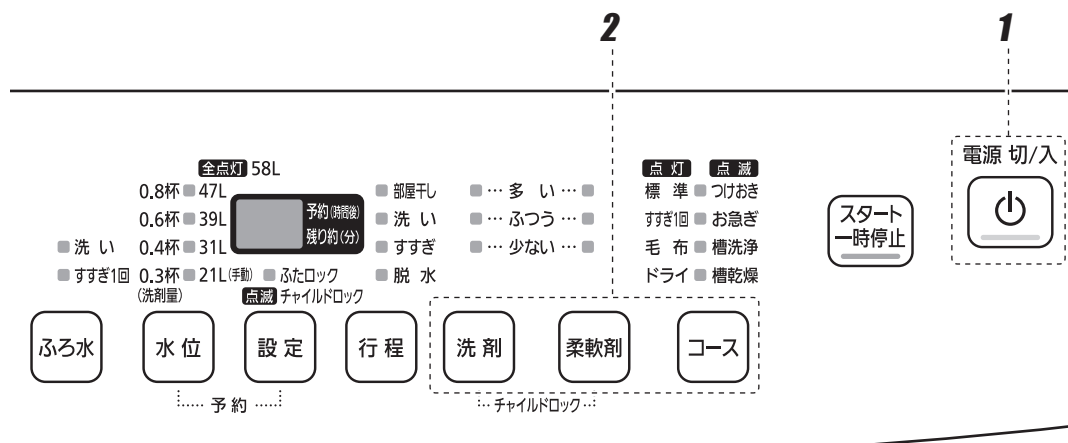
■タンクに入れづらいときは

液体洗剤タンク・柔軟剤タンクは取り外しての補充も可能です。

その際、洗濯機本体との接続部から液だれすることがありますので、安定している机やテーブルなどの平らな場所に汚れてもいい古タオル等を敷いて、その上に置いて作業してください。

※タンクを取り外してお手入れする場合は、30ページを参照してください。

■初めて運転するとき



- ・初めて自動投入を使用し洗濯するときは、以下の設定を行ってください。
洗濯機内部に液体洗剤・柔軟剤が充填されます。

1 タンクに液体洗剤・柔軟剤を補充後、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

2 電源を入れて5秒以内に洗剤・柔軟剤・コースボタンの3つを同時に押す

時間表示部に「RR」と表示されます。

※5秒経過すると設定できなくなります。その場合は電源を入れ直してください。

3 洗濯機内部に液体洗剤・柔軟剤を充填する

液体洗剤の場合

- ・水位ボタンを押すと、時間表示部に「P1」と表示され、液体洗剤の充填を開始します。

※ 充填が完了すると、「RR」と表示されます。

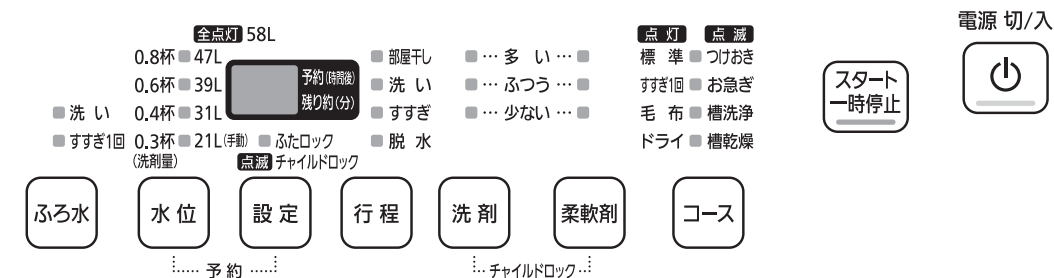
柔軟剤の場合

- ・設定ボタンを押すと、時間表示部に「P2」と表示され、柔軟剤の充填を開始します。

※ 充填が完了すると、「RR」と表示されます。

※ 充填中、槽内に洗剤や柔軟剤がたれる場合がありますが、故障ではありません。

洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は



電源 切/入ボタンを押して電源を入れ、ふたを開けて洗濯物を投入します。
※ ふたは開けたままにしてください。

■手動投入に切り替える

※ 初期設定は洗剤・柔軟剤ともに**ふつう**が点灯し、自動投入に設定されています。

洗剤ボタン、柔軟剤ボタンを押すたびに点灯位置が **ふつう → 多い → (消灯) → 少ない** と切り替わります。

ランプが消灯するまで押し続けてください。

※ 洗剤ボタン、柔軟剤ボタンともに、ランプが消灯すれば設定は完了です。

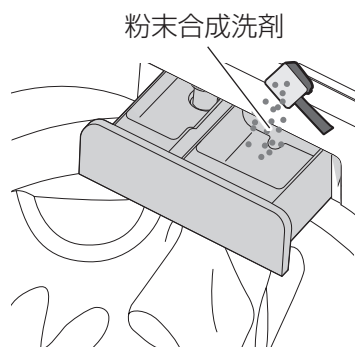
スタート／一時停止ボタンを押すと、水位の点滅位置が切り替わり、洗濯物の量に応じた水位が決定します。

■洗濯用洗剤の入れかた

水位に応じて、洗剤をケースに入れます。

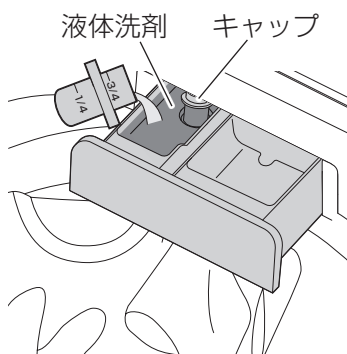
粉末合成洗剤

※ 粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。



液体洗剤・液体中性洗剤

※ 液体洗剤・液体中性洗剤はキャップより多く入れないでください。運転開始前に全部流れ出てしまい、効果が出ません。



粉石けん

- ① 約30℃のぬるま湯約5Lをかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れて、洗剤液を作る。
- ② 洗濯物の量検知後、洗濯・脱水槽に入れる



■柔軟仕上げ剤の入れかた

水位に応じて柔軟仕上げ剤を柔軟剤投入口にゆっくり入れる

- ・柔軟剤投入口のふたを開けて投入してください。投入後はふたを閉めてください。
 - ※柔軟仕上げ剤は入れすぎないでください。先に流れてしまうことがあります。
 - ※少量の水と混ざると固まるものがあります。柔軟仕上げ剤の説明書にしたがってください。
- 柔軟剤投入口の位置は、洗濯・脱水槽の回転によって変わります。
- 柔軟仕上げ剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回してください。(右回転のみ)
- ※脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟仕上げ剤の効きが弱くなる場合があります。
 - ※すすぎを3回に設定した場合、柔軟仕上げ剤の効きが弱くなる場合があります。
 - ※脱水運転中に一時停止すると柔軟剤の投入時期がずれて効きが弱くなる場合があります。

柔軟剤投入口



- スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。

■漂白剤を使用する場合

「漂白剤の入れかた」(→P12)を参照してください。

■投入する洗剤量

- ・お使いの洗剤・柔軟剤の表示に従って適切な量を入れてください。
- ※お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

- 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

■ふたを閉めると運転開始

- ※手動投入の設定は記憶しません。手動で洗剤・柔軟剤を投入する場合は、「手動投入に切り替える」(→P14)の設定を毎回行ってください。

ふたロックについて

- ・ 運転中はふたロックがかかります。

ふたロックを解除するには

- ・ 洗濯の途中でふたロックを解除するには、スタート／一時停止ボタンを押してください。



- ・ 脱水の途中でスタート／一時停止ボタンを押したときは、洗濯脱水槽が停止してからふたロックが解除されます。

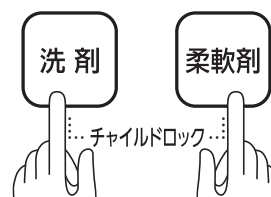
チャイルドロックについて

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを入にすることができます。

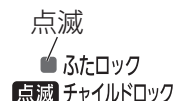
チャイルドロックモードを入にすると、解除するまでふたロックが自動でかかります。

■チャイルドロックモードを入／切するには

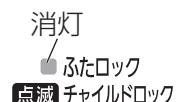
- ・ 電源が入っているときに、洗剤ボタンと柔軟剤ボタンを同時に3秒間押すと、チャイルドロックモードの入／切を切り替えることができます。



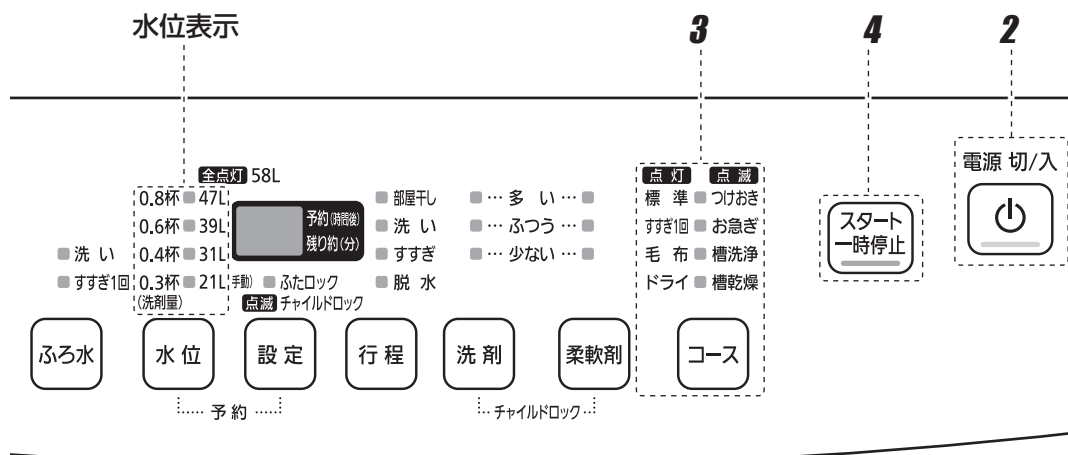
- ・ チャイルドロックモードが入になると、ふたロックランプが点滅し、ふたロックがかかります。



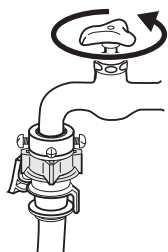
- ・ チャイルドロックモードを切にすると、ふたロックランプは消灯します。



- ・ 洗濯が終了し電源が切れ、再度電源を入れてもチャイルドロックモードは設定されたままです。



1 水栓を開け、洗濯物を入れる



7 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

8 糸くずフィルターを掃除する

■水位について

- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。
- また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。

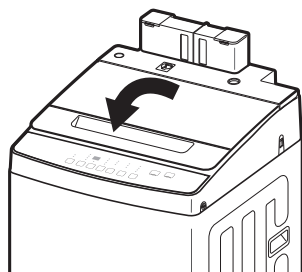
2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

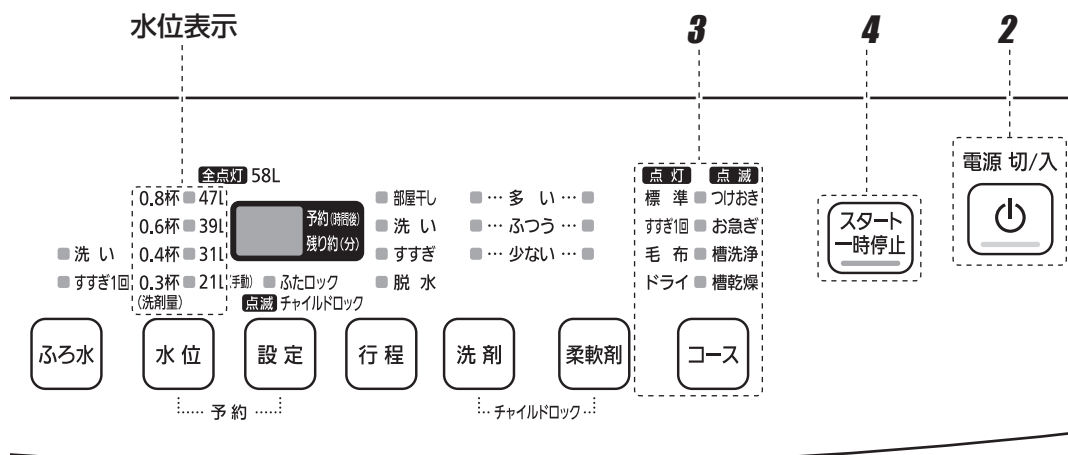
4 スタート/一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

5 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

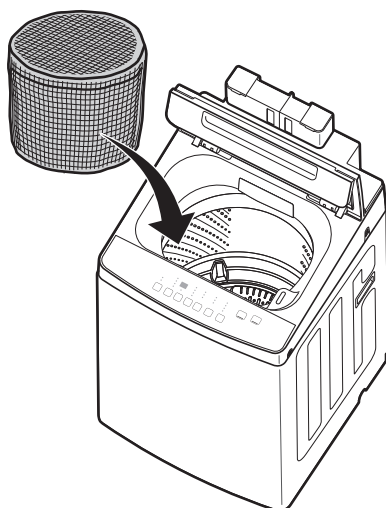
6 ふたを閉めると運転が始まります



洗濯 毛布コース



1 水栓を開け、洗濯物を入れる



■洗濯物について

毛布コースで洗濯できるもの

- 毛布

手洗い 30 または 洗いの表示があるもの

40 または 40 の表示があるもの

種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布

大きさ：シングルサイズ（140×200cm）まで

- カーペットカバー
- ベッドパッド
- カーテン

※ 洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンで毛布コースを選ぶ

4 スタート/一時停止ボタンを押して、ふたを閉める

5 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する

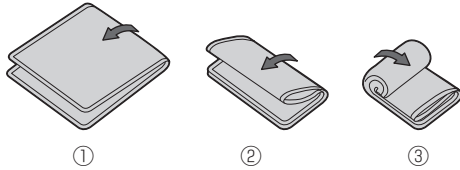
毛布コースで洗濯できないもの

- 毛100%の毛布・カーペットカバー
- 防水性のあるもの
- 化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- 電気毛布・電気マット

■毛布の入れかた

折りたたむ

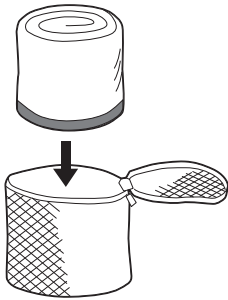
- 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- 長いほうを四つまたは八つに折り、短いほうに巻いてください。できるだけ高さを低くするように折ってください。（毛布洗い用の洗濯用ネットに入れるため）



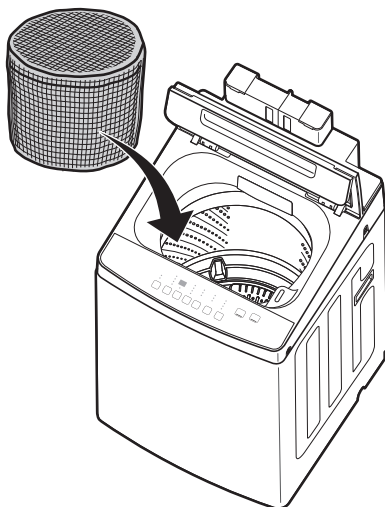
- マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

洗濯用ネットに入れる

- 必ず、毛布洗い用ネットに入れて洗濯してください。
- 縁のあるほうを下になるように毛布洗い用ネットに入れ、ファスナーを閉めてください。



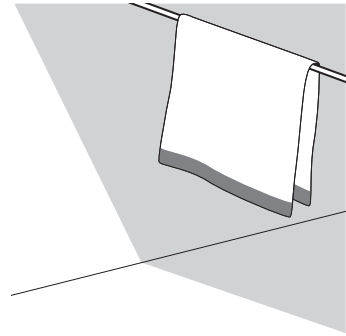
- ファスナーを上側にして、洗濯脱水槽に入れてください。

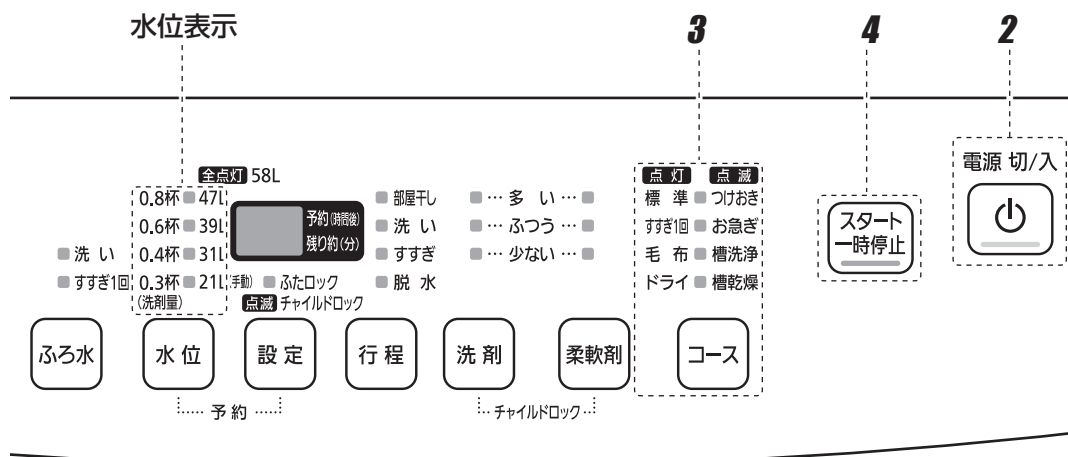


- 水に浮きやすいときは、給水後一時停止して上から押さえ、十分に洗剤液をしみ込ませてください。

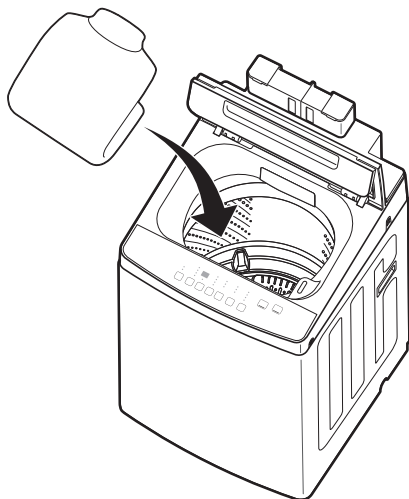
■毛布の干しかた

- ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。
- 風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。





1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入 ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでドライコースを選ぶ

4 スタート/一時停止ボタンを押して、ふたを閉める

5 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する

■洗濯物について

ドライコースで洗濯できるもの

手洗い 30 または 手洗いの表示があるもの

- ・ウールのセーター・カーディガンなど
- ・スラックス・スカート・学生服類
- ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類

※ 上記でも洗えないものがあります。

ドライコースで洗濯できないもの

- ・水につけると、型くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラおよびその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、型くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・水に浮いてしまうもの
- ・防水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

色落ちを確認する

- 白いタオルの上に衣類の目立たない部分を載せ、洗剤液をしみ込ませた白いタオルでたたきます。タオルに色移りしていたら、洗わないでください。

部分汚れがある場合

- えり・そでなど部分汚れがあるところは、洗剤の原液をつけやわらかいブラシで軽くたたきます。

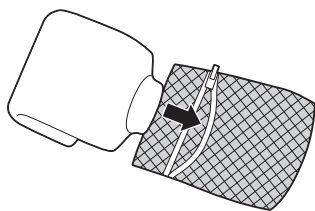
ブリーツ加工のもの

- ブリーツは、しつけ糸でとめてください。

洗濯物の入れかた

デリケートな衣類は洗濯用ネットに入れる

- 1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



平らになるように重ねて入れる

- ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が1か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

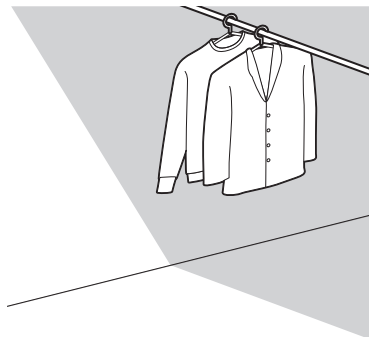
洗剤・漂白剤について

- 洗濯用液体中性洗剤を使用してください。
- 漂白剤は使用しないでください。

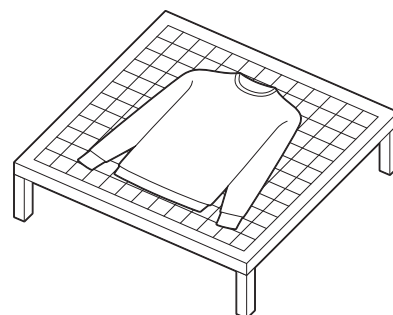


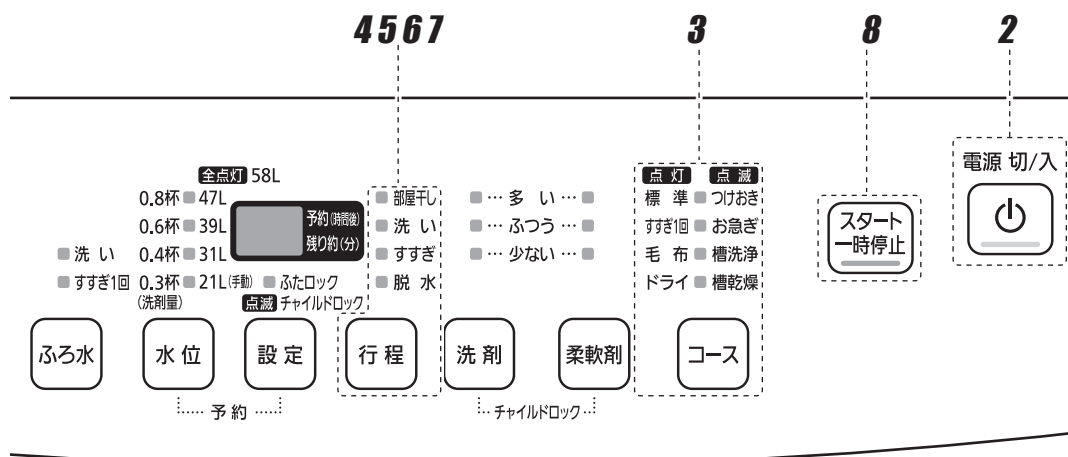
洗濯物の干しかた

- 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



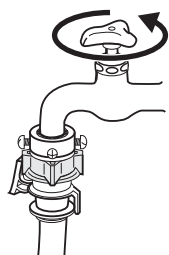
- セーターなどは平干ししてください。





洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独での運転も可能です。
※ コースによっては設定できない場合があります。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

4 洗い時間を設定する場合

行程ボタンで洗い行程を選び、設定ボタンで時間を設定する

5 すすぎ回数を設定する場合

行程ボタンですすぎ行程を選び、設定ボタンですすぎ回数を設定する

6 脱水時間を設定する場合

行程ボタンで脱水行程を選び、設定ボタンで時間を設定する

脱水行程だけを運転する場合は、行程ボタンを約3秒間押し続ける

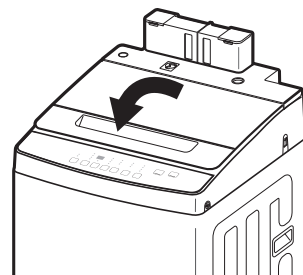
7 部屋干しを設定する場合

行程ボタンで部屋干しを選び、設定ボタンで時間を設定する

8 スタート/一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

9 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

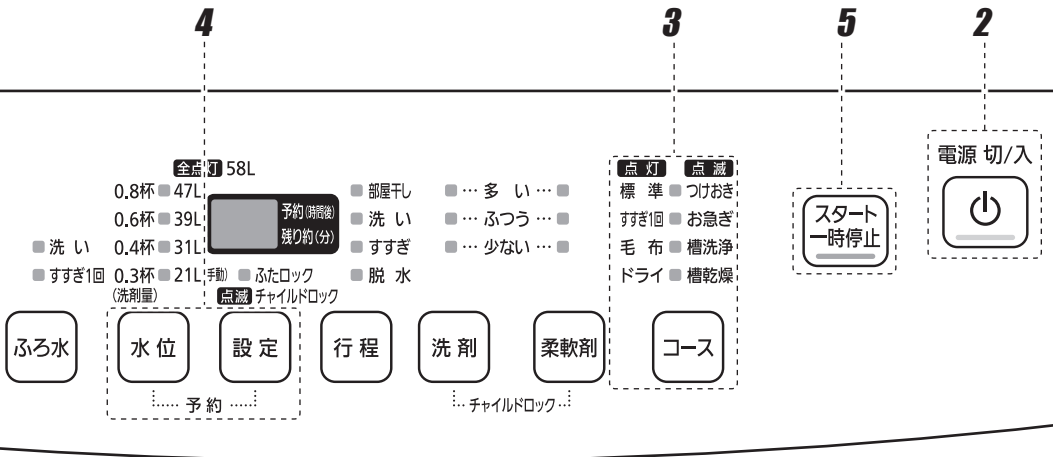
10 ふたを閉めると運転が始まります



11 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

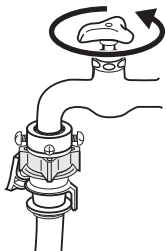
12 糸くずフィルターを掃除する

洗濯



※ ドライ・槽洗浄・槽乾燥コースでは使えません。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

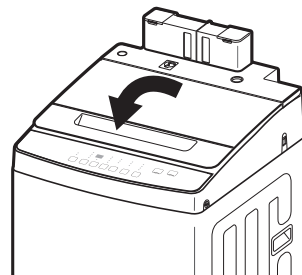
4 水位ボタンと設定ボタンを同時押しして、洗濯の終了時間を設定する

5 スタート／一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

6 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

7 ふたを閉めると予約運転スタート

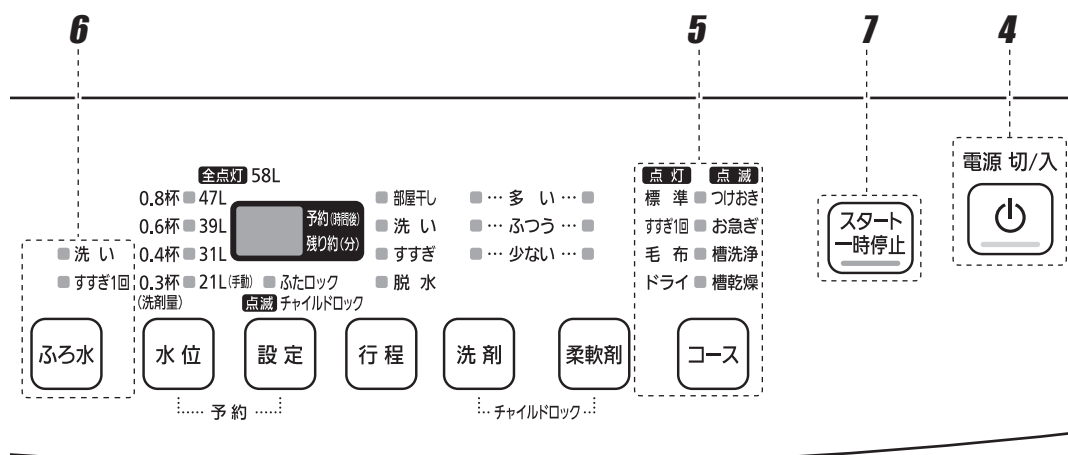
※ふたを閉めないと、タイマー予約運転ができません。



8 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

9 糸くずフィルターを掃除する

ふろの残り湯を使用する

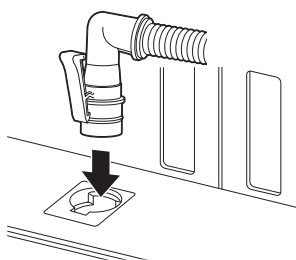


ふろの残り湯を使用して洗濯することができます。

洗い・すすぎにふろ水使用ができるコース	標準、毛布、つけおき
洗いのみふろ水が使用できるコース	すすぎ1回、お急ぎ
ふろ水使用ができないコース	ドライ、槽洗浄、槽乾燥

- ふろ水は40℃以下で使用してください。
- 硫黄成分（入浴剤などに入っていることがあります）の入ったふろ水は使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷める可能性があります。
- 入浴剤や浴室用洗剤が入ったふろ水は、洗濯・脱水槽を傷めたり、衣類に色が付いたりする可能性があります。入浴剤や浴室用洗剤の注意書きをよくご覧ください。
- 発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入ったふろ水は、給水できなったり、吸水口のフィルターの詰まりの原因になります。また、衣類が汚損するおそれがあります。

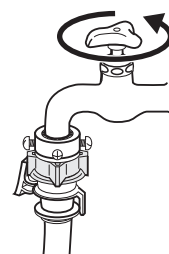
1 ふろ水給水口のゴム栓を外して、ふろ水ホースの給水継手を接続する



- ・ ロックレバーのつめが確実にかかっていることを確認してください。しっかり接続されていないと、ふろ水ホースが抜け、ふろ水を吸い上げることができません。

2 ふろ水ホースをのぼして吸水口を浴槽に沈める

3 水栓を開け、洗濯物を入れる



4 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

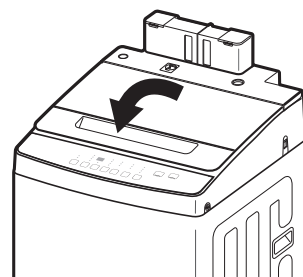
5 コースボタンでコースを選ぶ

6 ふろ水ボタンを押して、ふろ水を使用する行程を選ぶ

7 スタート/一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

8 洗剤・柔軟仕上げ剤を手動で投入する場合は、14、15ページを参照してください

9 ふたを閉めると運転が始まります

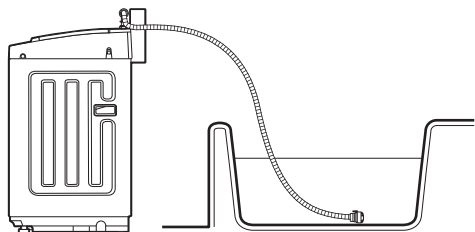


10 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

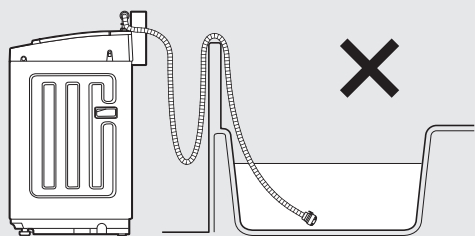
11 糸くずフィルターを掃除する

ふろ水ホースを使用するときの注意

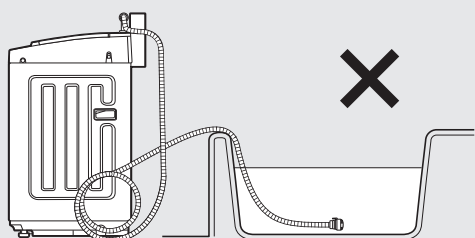
- 吸水口が完全に水に沈むようにしてください。
- 吸水口が水面上に露出すると、ふろ水を吸い上げることができません。
- 吸水口が浮き上がらないようにしてください。
(ホースをたるませると、吸水口が浴槽から抜けてしまいます。)



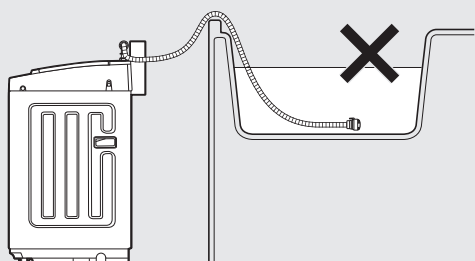
- 高い壁を越えるときは、ホースをたるませない



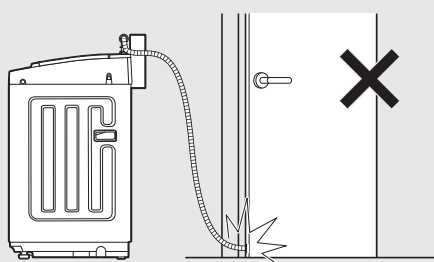
- 巻いたまま使用しない



- 本体よりふろ水の水位が高いところから吸水しない



- ふろ水ホースを、ドアに挟んだり、無理に引っ張ったり、踏みつけたりしない



- ふろ水利用中にふろ水がなくなったときは、水道水に切り替わります。

呼び水について

- 運転を開始すると、ふろ水を吸水するために、呼び水として水道水が給水されます。特に、最初に使用するとき、長期間使用しなかったときは、多めに呼び水が給水されます。
- 設定されたコースの水位が低い場合、ふろ水を給水する前に、呼び水だけで給水が終了してしまうことがあります。
- 呼び水給水を数回行ってもふろ水を吸水することができないときは、水道水の給水に切り替わります。

- 初めて使用するときや、水道水の水圧が低い場合など、ふろ水タンクに呼び水を給水できず、ふろ水を吸い上げないことがあります。
ふろ水を吸い上げない場合は、いったんふろ水ホースの給水継手を外し、本体のふろ水吸水口に直接水を注いで、満水にしてから使用してみてください。

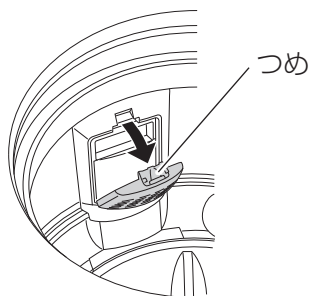
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

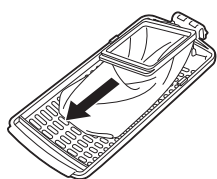
■糸くずフィルター

洗濯後毎回お手入れしてください。目詰まりすると糸くずが取れにくくなります。

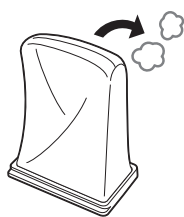
- 1 糸くずフィルターのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す



- 2 糸くずネットを下にスライドさせ取り外す



- 3 糸くずネットを裏返して、たまった糸くずを捨てる



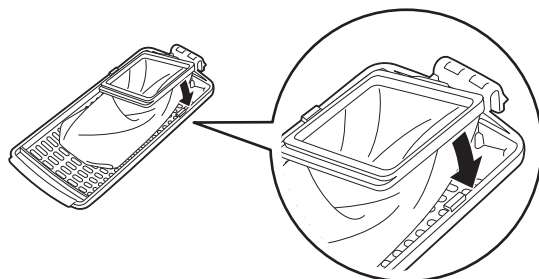
※糸くずのたまる量は衣類によって異なります。糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。

- 4 水洗いする



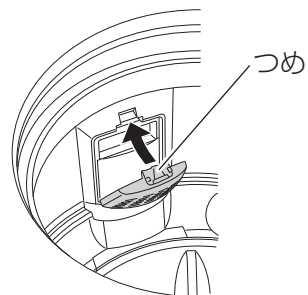
- 5 糸くずネットを取り付ける

- ・糸くずネットの片側をフィルターケースのつめに引っかけ、上側の2つのつめの位置をスリットに合わせ、もう片方のつめを押し下げてパチンとめてください。



- 6 糸くずフィルターを元どおり取り付け

- ・糸くずフィルター下端を差し込み、上部をカチッと音がするまで押し込んでください。

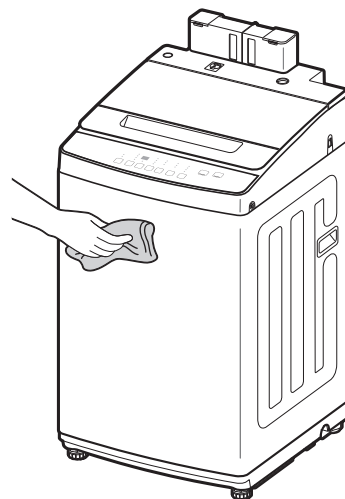


■本体外側

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

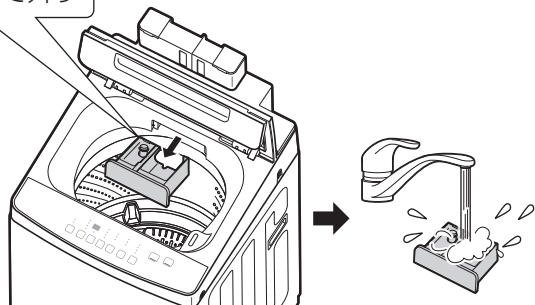
※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布などで洗剤を拭き取ってください。



■ 洗剤投入ケース

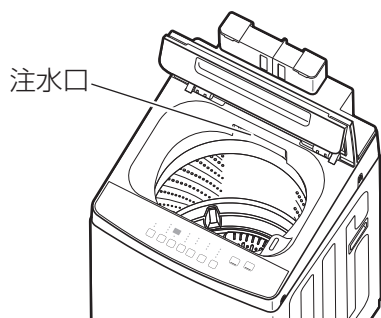
外して水洗いする

手前に引き、
持ち上げて外す



・ 取り付けるときは、逆の手順で取り付ける。

洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取る

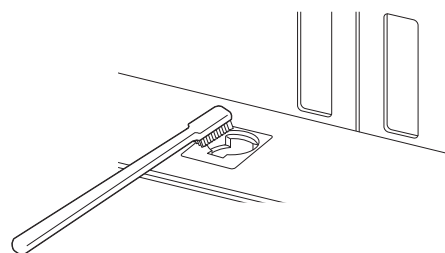


■ ふろ水ホース

ふろ水ホースの吸水口や、給水口の接続部にゴミがたまると、吸水できなくなります。定期的にお手入れしてください。

ふろ水給水口

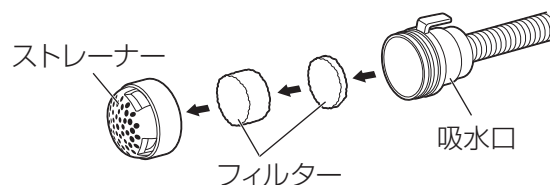
・ ふろ水ホースの給水継手を外し、不要な歯ブラシなどを使用して、ゴミを取り除いてください。



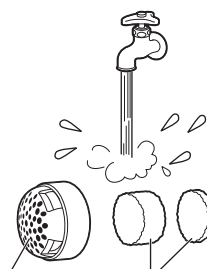
ふろ水ホース

※ 周囲をぬらさないように、浴槽の中などでお手入れしてください。

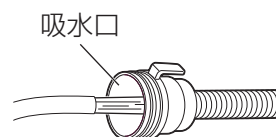
① ストレーナーを回して外し、フィルターを取り出す



② ストレーナーとフィルターは水洗いする



③ 吸水口から、水道水を強めに流し入れ、内部のゴミを洗い流す



※ ホースの破れなどによる水もれがないかどうか確認してください。

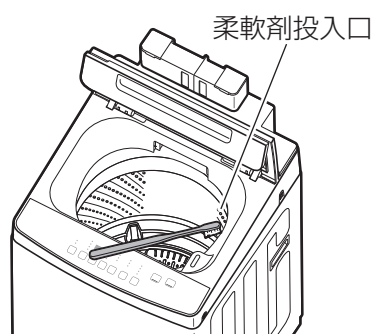
水もれがあった場合は、アイリスコールにご相談ください。

④ 水気を拭き取り、元どおり組み立てる。

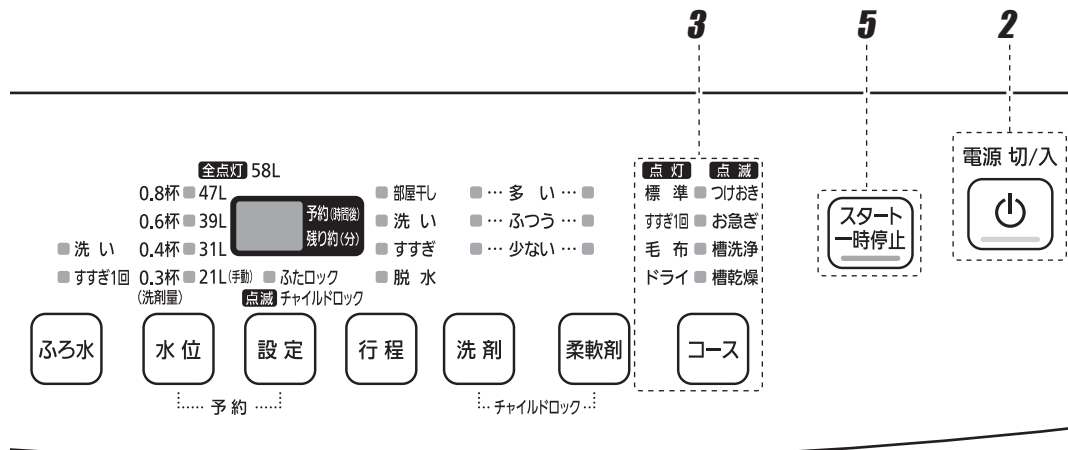
■ 柔軟剤投入口

汚れているときはお手入れしてください。

不要な歯ブラシなどでこすり、汚れを落とす



お手入れ っづき



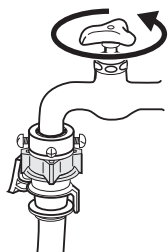
■槽洗浄



- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽洗浄を行ってください。

1 水栓を開ける

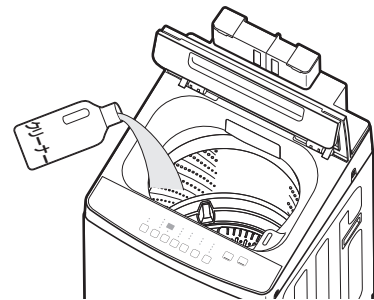


※ 衣類は入れないでください。

2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンで槽洗浄を選ぶ

4 槽洗浄用クリーナーを洗濯・脱水槽に入れる

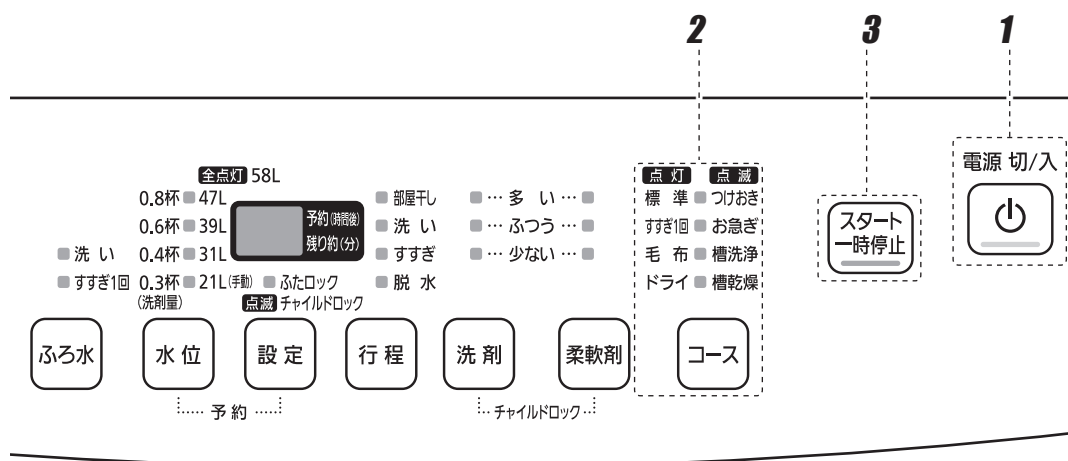


5 スタート／一時停止ボタン押して、ふたを閉める

6 槽洗浄が終了したら、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

槽洗浄用クリーナーについて

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- ・ 塩素系漂白剤に表示がない場合は、約300mL使用してください。



■ 槽乾燥

洗濯・脱水槽とパルセーターが高速で回転し、洗濯・脱水槽を乾燥させます。

※ 衣類は入れないでください。

1 電源 切/入 ボタンを押して電源を入れる

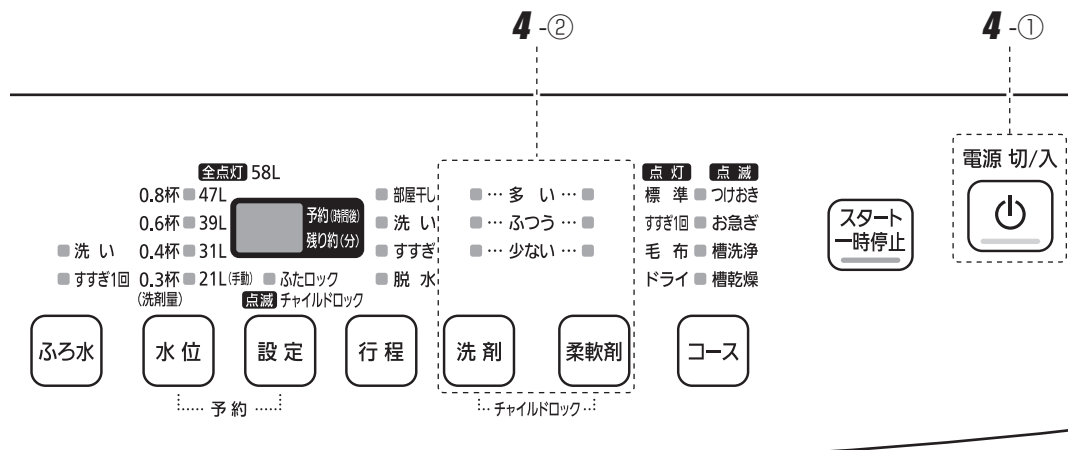
2 コース ボタンで槽乾燥を選ぶ

※ 槽乾燥コースでは、自動的に決まった内容に設定され、変更できません。

3 スタート/一時停止 ボタンを押す

※ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

お手入れ っづき



■自動洗剤投入タンク・経路

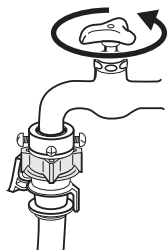
3か月に1回程度お手入れをしてください。

また、次の場合にもお手入れをしてください。

- ・使用する液体洗剤や柔軟剤を変更するとき
- ・1か月以上、自動投入を使用しなかったとき
- ・タンクのふたを開けたまま放置したとき
- ・使用中の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になるなど変質したとき

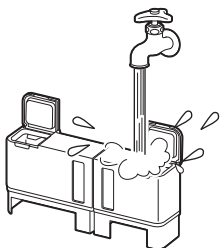
1 水栓を開ける

※衣類は入れないでください。



2 タンクを取り外し中を水ですすぐ

- ・汚れが固まっている場合はぬるま湯（40℃以下）を張り、30分程度置くと取れやすくなります。



3 タンクにぬるま湯（40℃以下）を満タンまで入れ、設置する

4 お手入れ運転を行う

- ①電源 切/入ボタンを押して電源を入れる
- ②電源を入れて5秒以内に洗剤ボタン・柔軟剤ボタン・コースボタンを同時押しする
- ・時間表示部に「P3」と表示されます。
- ③お手入れ運転を開始する

液体洗剤の場合

- ・行程ボタンを押すと、時間表示部に「P3」と表示され、液体洗剤投入経路のお手入れ運転を開始します。（所用時間約50分）

柔軟剤の場合

- ・洗剤ボタンを押すと、時間表示部に「P4」と表示され、柔軟剤投入経路のお手入れ運転を開始します。（所用時間約50分）

※液体洗剤・柔軟剤ともにお手入れが完了すると「P3」と表示されます。

※お手入れ中ポンプの回る音がする場合がありますが故障ではありません。

5 水栓を閉じて、電源を切る

6 経路の残水処理を行う

- ①液体洗剤・柔軟剤タンクに液体洗剤・柔軟剤を補充し、→P13の「初めて運転するとき」の手順を行ってください。

7 洗濯・脱水槽に残った水を排出する

- ・脱水のみ3分間運転してください。

コース一覧

コース	水位	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	部屋干しモード	所要時間 ^{※4}
標準	21～58L	-	10分	2回	14分	60分 ^{※1}	54分 ^{※2}
すすぎ1回	21～58L	-	10分	1回	7分	60分 ^{※1}	42分 ^{※2}
毛布	58L	20分	20分	3回	12分	-	105分 ^{※2}
ドライ	47L	-	10分	2回	8分	-	45分
つけおき	21～58L	30分	10分	3回	12分	-	105分 ^{※2}
お急ぎ	21～58L	-	5分	1回	5分	-	35分
槽洗浄	58L ^{※3}	20分 ^{※3}	5分 ^{※3}	1回 ^{※3}	3分 ^{※3}	-	71分
槽乾燥	-	-	-	-	18分 ^{※3}	-	18分

※ 洗い・脱水の時間、所要時間は目安です。

※ 洗い・すすぎ・脱水の時間は、それぞれのコースの標準設定です。**行程**ボタン・**設定**ボタンで設定を変更できます。(コースによっては変更できないものもあります。)

※ つけおき中は、時々パルセーターが回転します。

※ 水位の21Lは、**水位**ボタンで選んだときのみ設定できます。

※ 所要時間は、給水(15L/分で計算)・排水の時間が含まれます。

※1 **部屋干し**モードは**行程**ボタンで部屋干しを選んだときのみ運転します。

※2 所要時間は**部屋干し**モードの時間を含みません。

※3 槽洗浄、槽乾燥コースでは、自動的に決まった内容に設定され、水位・行程のランプは消灯し、変更できません。

※4 所要時間が100～120分の場合、時間は2Hと表示します。

121分以上の場合、時間は3Hと表示します。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯がスタートしない	●電源が入っていない	●電源 切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	●ふたが開いたままになっている ●ふたがきちんと閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたの下に異物が挟まっていないか確認してください。
	●タイマー洗濯予約になっている	●すぐに洗濯する場合は、いったん電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水もれする	●給水ホースが水栓と確実に接続されていない	●給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)
	●ホース継手と水栓が合っていない	●ホース継手と水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)
	●給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていない	●給水ホース付属のホース継手は、水栓に、隙間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)
	●排水口が詰まっている	●排水ホースを取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置し直してください。(→据付説明書)
	●排水ホースが排水口から外れている	●排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)
初めて使用したときに、排水ホースから水が出た	●出荷時の性能テストの水が残っていた	●異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中にゴボゴボという音がする	●排水が空気と混ざる音がある	●異常ではありません。
ふたが開かない	●運転中に停電した	●電源 切／入ボタンを押して再度電源を入れてください。
	●チャイルドロックを設定している	●チャイルドロックを解除してください。(→P16)

状 態	考えられる理由	処 置
排水されない	● 排水ホースが排水口に接続されていない	● 排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)
	● 排水口が詰まっている	● 排水口を掃除してください。
	● 排水ホースが持ち上がっている	● 排水ホースが、床面から10cm以上持ち上がらないようにしてください。
給水されない	● すずぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水する	● 最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。
	● 水栓が開いていない	● 水栓を開けてください。
	● ふたが閉まっていない	● ふたを確実に閉めてください。
洗濯の途中で給水される	● 洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水する	● 故障ではありません。
	● すずぎ中は、給水しながら運転する	● すずぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。故障ではありません。
脱水の途中で給水される	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正する	● 異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する	● 洗濯物が片寄っていて脱水できない	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水槽が完全に停止してから行ってください。)
洗濯物の量に水位が合っていない	● 軽い衣類、水にぬれて重くなった衣類などを洗濯した	● 洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣類や水にぬれて重くなった衣類などを洗濯するときは、 水位 ボタンで水位を変更してください。
洗濯物の量を検知しない	● 洗濯・脱水槽に水が残ったまま運転した	● 洗濯物を取り出して脱水運転で排水をしてください。
洗濯物に糸くずが付く	● 前回の洗濯物の糸くずがたまっていた	● 洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→P26)
	● 色の濃い衣類などは糸くずが目立つ	● 市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物に ごみが付く	●洗濯・脱水槽が汚れている (洗剤かす・かびなど)	●槽洗浄を行ってください。槽洗浄(→P28)した後は、糸くずフィルターをお手入れ(→P26)してください。
洗濯物に しみが付く	●柔軟仕上げ剤が部分的に付いて、しみになることがある	●柔軟仕上げ剤は直接衣類にかけないで、柔軟剤投入口に入れてください。(→P15)
洗濯物が黄ばむ	●断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用した	●断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。 ●白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)
洗濯物が 傷む・けば立つ	●デリケートな洗濯物を標準コースで洗っている	●デリケートな洗濯物は、洗濯用ネットに入れる・ドライコースで洗濯するなどしてください。 ●けば立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。
洗濯物に 洗剤が付く	●水温が低いと洗剤が溶けにくい	●水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。
	●洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなる	●軽いものや分厚いものは、下のほうに沈めて洗濯してください。
	●粉石けんを使用している	●粉石けんは溶けにくいことがあります。別な容器に約30℃のぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→P14)
色移りする	●色落ちしやすいものを一緒に洗濯している	●色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。
汚れが 落ちにくい	●洗濯物を入れすぎている	●洗濯物の量を適正に減らしてください。
	●洗剤が少ない	●洗濯用洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。
	●洗濯物の汚れが激しい	●汚れの激しい洗濯物は、つけおきコースで洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。
	●落ちにくい汚れが付いている	●泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物が ごわごわする	●パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつく	●柔軟仕上げ剤を使用してください。
洗濯物がおう	●洗濯・脱水槽が汚れている（かびなど）	●槽洗浄を行ってください。（→P28）
	●洗濯物を生乾きのまま放置した	●洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。
	●においの付いたふろの残り湯などを使用した	●においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。
部屋干しモード 運転したのに 乾きが悪い	●部屋干しモードは温風を使用しないため、室温や湿度によって乾きに差が出る	●乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水+部屋干しモードだけの追加運転をしてください。
音大きい 振動する	●電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっている	●電源コード・給水ホース・排水ホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。
	●金属の小物などと一緒に洗濯している	●金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。
	●ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている	●ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。 ●ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
	●洗濯物が片寄っている	●洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。 スタート／一時停止 ボタンを押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
ふろ水使用に 設定しているのに、 水道水が 給水される	● 運転開始直後は、呼び水（水道水）が給水される	● 水位の設定（自動で検知された場合も含む）が低いと、呼び水の給水だけで終わってしまうことがあります。
	● ふろ水ホースがたるんでいて吸水できないので、水道水に切り替わった	● ふろ水ホースがたるんでいると、水位の高低差のために、ふろ水を吸水できないことがあります。ふろ水ホースをたるませないようにしてください。
	● ふろ水ホースの吸水口が詰まっているので、水道水に切り替わった	● 吸水口を分解して、吸水口とフィルターを洗ってください。
	● ふろ水に、発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入っているので吸水できず、水道水に切り替わった	● 発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入ったふろ水は使わないでください。
	● ふろ水ホースの吸水口が浮いているので吸水できず、水道水に切り替わった	● 吸水口が水面より下に沈むようにしてください。
	● ふろ水がなくなった	● ふろ水がなくなると、自動的に水道水に切り替わります。
	● 初めて使用した（水道水の水压が低くて、呼び水が給水されない）	● 初めて使用するときには、水道水の水压が低い場合など、ふろ水タンクに呼び水を給水できず、ふろ水を吸い上げないことがあります。ふろ水を吸い上げない場合は、いったんふろ水ホースの給水継手を外し、本体のふろ水給水口に直接水を注いで、満水にしてから使用してください。
ふろ水が 給水されない	● 水栓が閉まっているので、呼び水を給水できない	● 呼び水を給水するために、水栓は開けてください。
	● ふろ水ホースが破損している	● ふろ水ホースを新しいものに交換してください。ふろ水ホースについては、アイリスコールへご相談ください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗剤・柔軟剤が自動投入されない	●正しく初期運転がされていない	●初期運転が正しくされていることを確認してください。(→P13)
	●自動投入設定が解除されている	●洗剤ランプ・柔軟剤ランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は自動投入設定が解除になっています。洗剤ボタン・柔軟剤ボタンを押してランプを点灯させてください。(→P12)
	●タンク内の液体洗剤・柔軟剤が空になっている	●液体洗剤・柔軟剤を補充してください。
	●タンク内で液体洗剤・柔軟剤が変質している	●液体洗剤投入口のふたを開けたままにしたり、粘性の高いもの、固まったものや分離したものを使用した場合、タンク内に変質したものが残っている場合があります。お手入れをしてください。(→P30)
	●自動投入経路が詰まっている	●お手入れ運転をしてください。(→P30)
洗濯が止まる エラー表示： [1]	●排水ホースが正しく取り付けられていない	●排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉して、再度 スタート／一時停止 ボタンを押してください。
	●排水ホースが詰まっている	●排水ホースを点検して、詰まっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、アイリスコールへご相談ください。
洗濯が止まる エラー表示： [2-1]	●ふたが閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたに異物が挟まっていたら、取り除いてください。
洗濯が止まる エラー表示： [2-3]	●ふたロックがかからない	●ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。 ●ふたがきちんと閉まっていない場合は閉めてください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が止まる エラー表示： 	●洗濯物が片寄っていて脱水ができない	●ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
	●洗濯物の量が多い ●洗濯用ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯している ●大きな洗濯物を洗濯している	●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯用ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。 ●大きな洗濯物は 毛布 コースで、記載を守って洗ってください。(→P18)
	●洗濯用ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上のほうにあるので、動作が不安定になる	●洗濯用ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下のほうに入れ直してください。
	●設置が悪くがたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
洗濯が止まる エラー表示： 	●水栓が開けられていない	●水栓を開いてください。
	●水道が凍結したり断水したりしている	●水道が復旧するまで使用を停止してください。
	●給水口にゴミが詰まっている	●据付専門業者またはアイリスコールへご連絡ください。

これら以外のエラー表示のとき、それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	
定格電圧	AC100V	
定格電源周波数	50 / 60Hz	
定格消費電力	50Hz	60Hz
	450W	490W
標準洗濯容量	8kg	
標準脱水容量	8kg	
標準使用水量	117L	
標準水量	58L	
防水レベル	IPX4	
外形寸法	幅590×奥行630×高さ1030 (mm)	
質量	39kg	

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



注意

製品の劣化や故障はさまざまな要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ 標準的な使用条件を超えて使用した場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■電源コードが破損した場合

直ちに使用を中止し、アイリスコールにご連絡ください。電源コードの交換は事故等防止のため、メーカーおよび代理店、または同等の有資格者によって行わなければならないと法律により定められています。

長年ご使用の洗濯機の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気をを感じる
- 運転中に異常な振動がある
- 洗濯・脱水槽がなかなか止まらない
- 電源を入れても動かないことがある
- 本体やホースから水もれする
- 洗濯機ががたつく

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ず販売店に点検を依頼してください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・
ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス





全自動洗濯機

IAW-T804

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

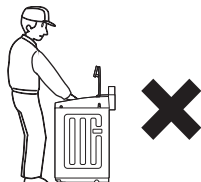
本体運搬時の注意.....	1
安全上の注意	2
付属品の確認	3
据え付け関連部品.....	4
据え付け	5

お客様へ

- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく据え付けてください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機を電源プラグに押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷付けない

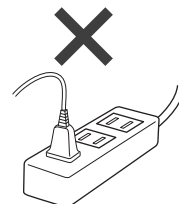
- 電源コードを引っ張らない

傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける

故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

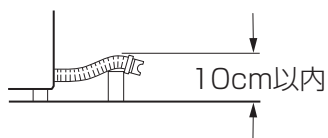


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、排水ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでいないか確認してください。給水ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
- 洗濯機用ストッパー付きニップルの付いた水栓でない場合は、必ず付属のホース継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けないでください。

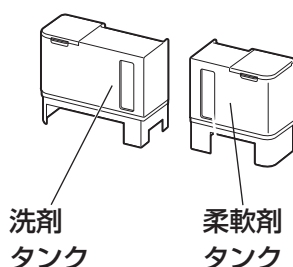


- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

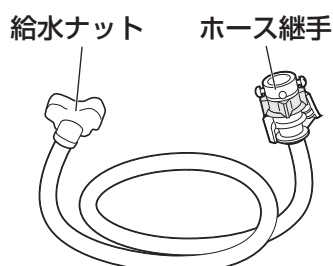
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認してください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。

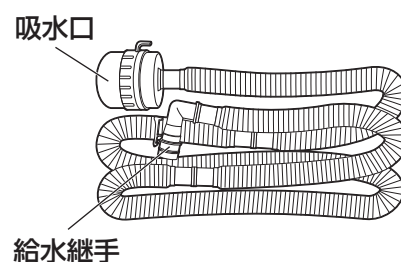
自動洗剤投入タンク



給水ホース（約0.8m）

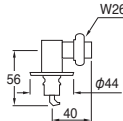
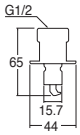
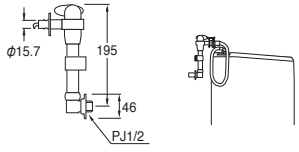
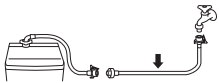
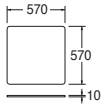
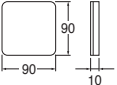


ふろ水ホース（約4m）



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、下記のSANEI 株式会社のを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・万一給水ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・曲げ角度90° ・材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・万一給水ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・カップリング水栓用 ・材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・全自動洗濯機用給水ホースの延長用 ・長さ：1m ・材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・洗濯機排水ホースの延長用 ・長さ：1.5m ・ホース内径：30mm
洗濯機用 トレイ（全自動用）	PH545-570		・材質：ポリスチレン
洗濯機用 防振かさ上げ台	PH54130S		・洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・洗濯機の振動を抑えます。 ・耐荷重：150kg（4個使用時） ・材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ 有機溶剤を扱う場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ ブロック・角材・レンガの上など、不安定な場所

給水圧の確認

- ・ 接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。

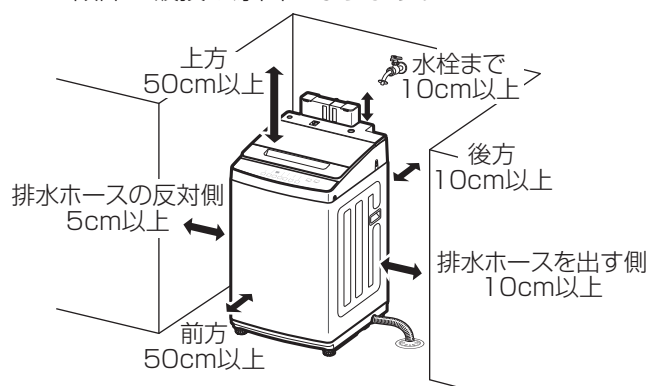
最大許容水圧：0.8MPa

最小許容水圧：0.1MPa

据え付けに必要な寸法の確認

壁から図に示す距離を空ける

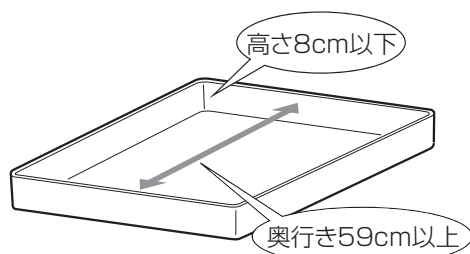
- ※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



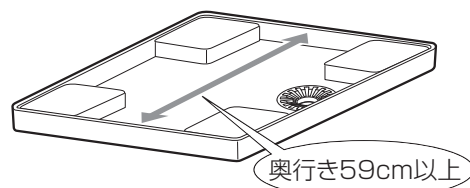
防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

- ・ 台なし防水パン



- ・ 台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。

2 排水ホースを排水口に接続する



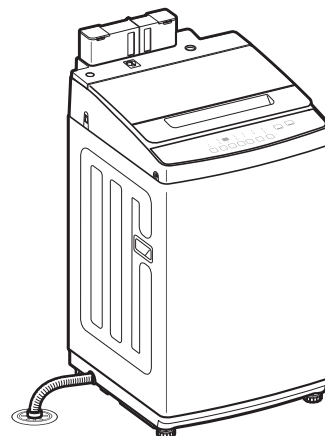
- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

- 排水口が本体の右側・左側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、真下排水パイプと台付き防水パンや防振かさ上げ台などを使用して排水口に接続します。

排水口が本体の右側・左側にあるとき

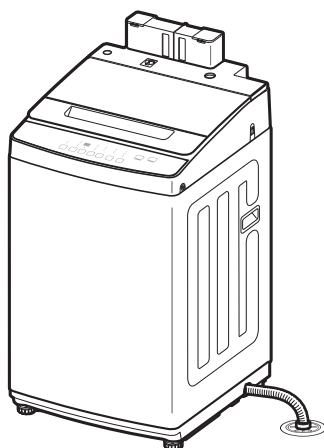
それぞれ下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

排水口が左側にあるとき



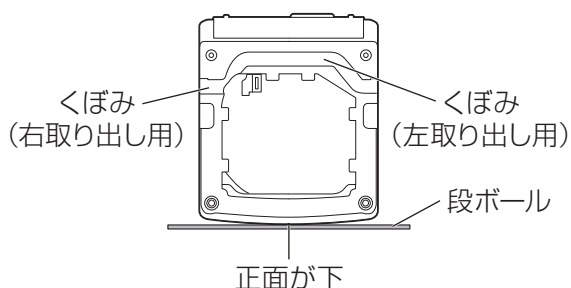
据え付け つづき

排水口が右側にあるとき



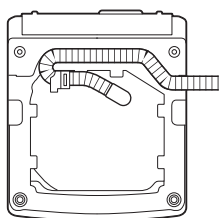
排水ホースの出しかた

① 段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる

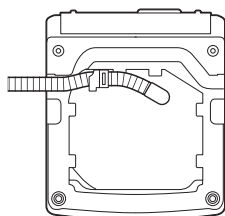


② 排水口の位置に合わせて、左か右にホースを引き出し、ホース取り出し用のくぼみに入れて固定する

排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき



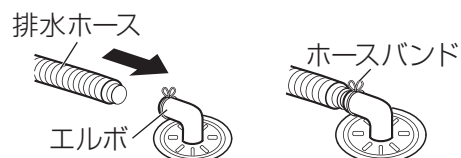
排水口への接続

・排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。

※ ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。

※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。

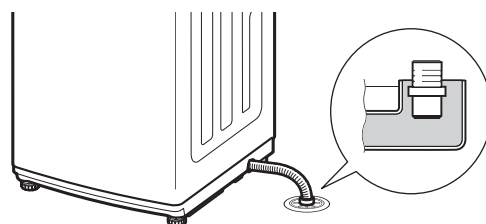
※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



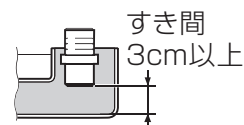
※ 排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



・排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。



※ ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

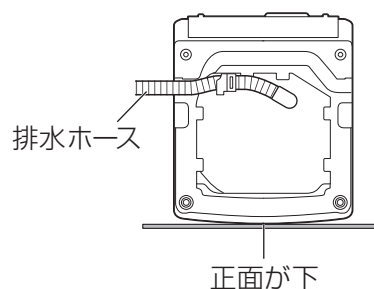


排水口が本体の下にあるとき

排水ホースの出しかた

① 段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる

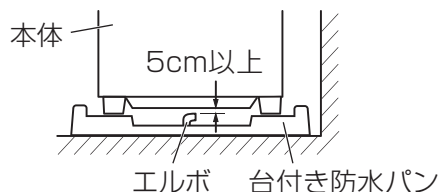
② 右側からホースを引き出し、ホース取り出し用のくぼみに入れて固定する



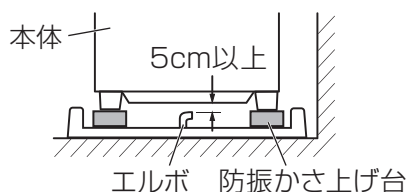
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げを使用して高さを調節してください。

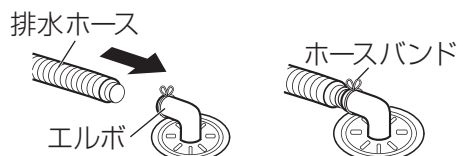
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

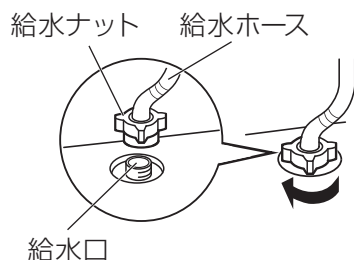
3 給水ホースを本体へ接続する



注意

- 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。
- 床近傍の給水栓に接続しないでください。給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

- 給水ホースの先に付いている給水ナットを、傾けないように本体の給水口に合わせて、給水ナットを締めこんでください。
- ※ナットは最後まできっちり締めてください。



4 給水ホースを水栓に接続する

水栓を確認する

接続できる給水栓



ニップル付き水栓

付属の継手は使用せず、継手を外して、付属の給水ホースを直接接続する。(→P3)

付属の継手を使用して接続できる給水栓



横水栓

付属の継手を給水ホースから取り外し、給水栓に取り付けて、給水ホースを接続する。(→P3)

接続できない給水栓



① お願い

- 上記の水栓には、付属の継手は取り付けできません。水栓の種類に応じて、市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。

自在水栓

カップリング横水栓

洗濯機用ニップル



万能ホーム水栓

つばなしワンタッチ水栓

洗濯機用L型ニップル

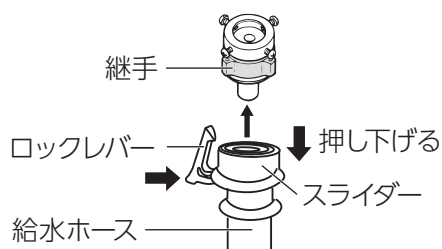


据え付け つづき

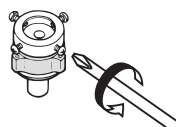
付属の継手の取り付けかた

- 給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

①給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダを押し下げて、引っ張って外す

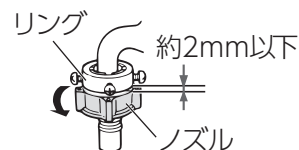


②継手の4本のねじをゆるめる



⑤ノズルを右に回して締める

- ノズルとリングの間に2mm以下になるように締める。



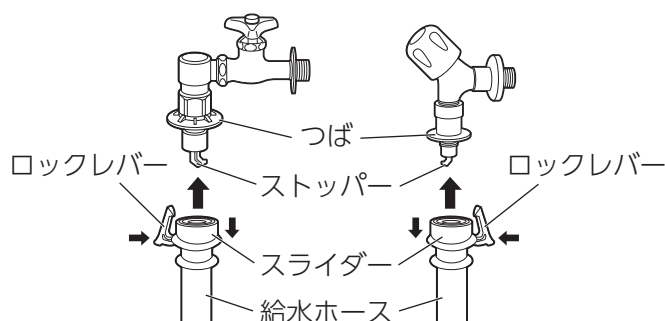
i お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

■接続のしかた

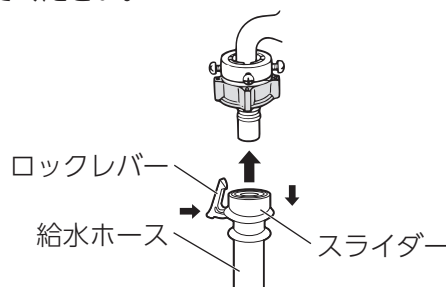
ニップル付き給水栓に接続する場合

- 付属の継手を取り外し、スライダを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



付属の継手を使用する場合

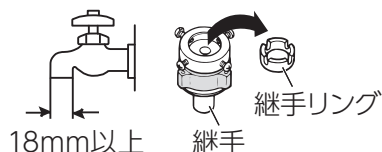
- スライダを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



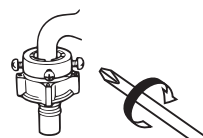
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

ポイント

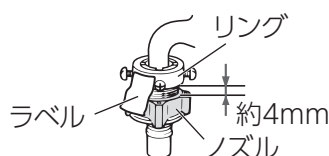
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。



③給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締める



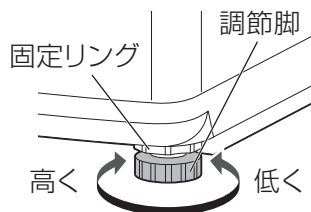
④継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



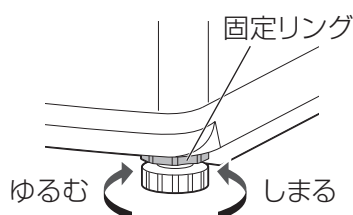
※ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

5 水平・がたつきの確認をする

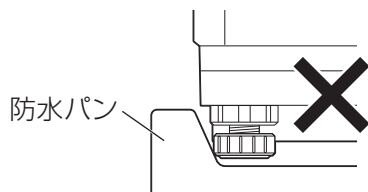
左右の調節脚を回して、がたつきがないように調整する



- 固定リングをゆるめ、調節脚を回して高さを調節したら、固定リングを締めて固定してください。

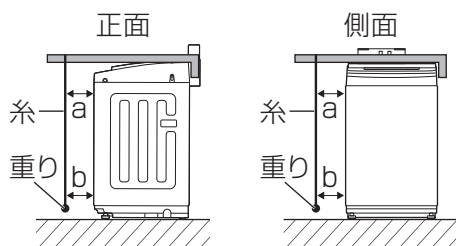


※ 本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



本体が水平になっているか確認する

- 正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



aとbの差=1cm以内

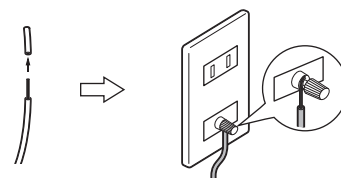
本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

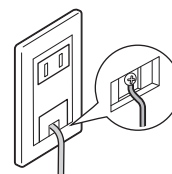
6 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

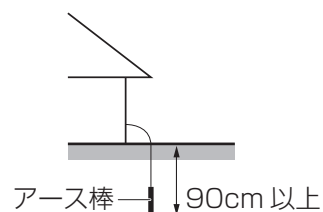


- ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

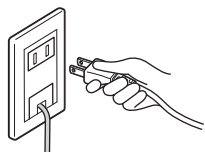
- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



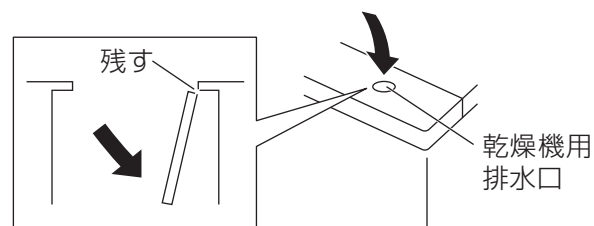
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードはたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。



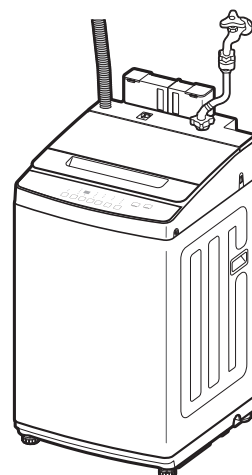
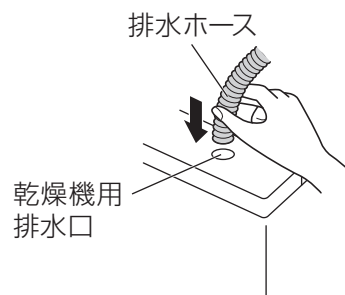
警告

8 衣類乾燥機とセットで使うとき

①洗濯機の乾燥機用排水口を押し、内側へ押し込む



②衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、乾燥機用排水口へ3山以上押し込む



- ・差し込みが不十分だと、乾燥機の水蒸気がもれて結露するおそれがあります。

9 試運転する

- ・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

- ・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

- ・パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、約1分後に給水が始まります。
- ・ふたロックが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。

3 水位ボタンを押し、一番上の水位を選ぶ

- ・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する

- ・ふたロックが解除されてふたが開くことを確認してください。

5 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて脱水行程だけを設定し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

- ・ふたがロックされます。
- ・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないことを確認してください。
- ・約3分間脱水し、異常音・異常振動がないことを確認してください。
- ・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する

- ・ふたロックが解除されることを確認してください。

8 電源 切／入ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みがないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、ねじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調節脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。（本体底面と固定リングの間にすき間がないこと）
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日： 年 月 日

確認者：

工事(施工)会社名：

問い合わせ先 電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

